

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は星川駅部と星川第2架道橋の工事進捗状況についてお知らせします。

## 星川駅部の工事進捗状況について

### 星川駅下り線側において鉄骨・3階乗降ホーム階のスラブ(床部)架設工事が進んでいます。

星川駅下り線側（約300m）の鉄骨架設工事については概ね完了しました。また、仮駅舎付近から海老名方の約200mの範囲においては3階乗降ホーム階のハーフプレキャストスラブ※の架設が完了しました。（写真-①参照）今後は引き続き、横浜方の約100mの範囲においてハーフプレキャストスラブ架設を進めていく予定です。

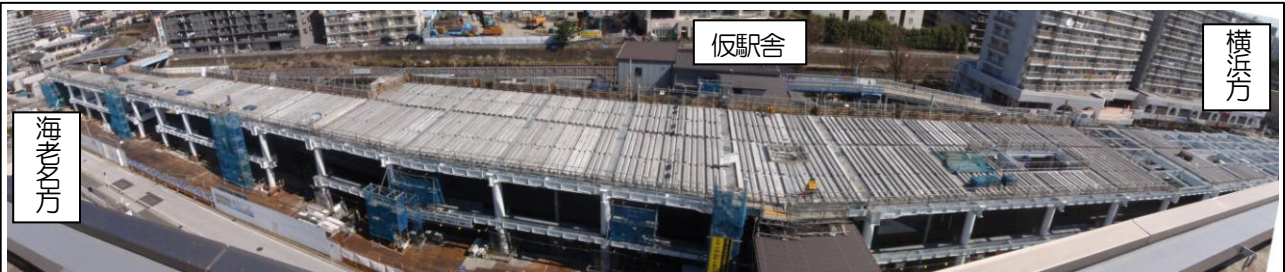


写真-① 星川駅鉄骨架設、3階乗降ホーム階スラブ架設状況  
(南側から北側を望む)

## ホシテン豆知識(その10)「ハーフプレキャストスラブ」について

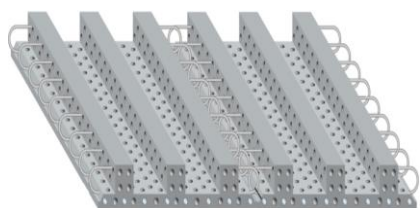
今回の事業にまつわるキーワードや情報についてお知らせするコーナーです。

星川駅3階乗降ホーム階部分の施工は営業線の電車を走らせながらの直上施工となるため、従来の型枠・支保工を用いてコンクリートを打設する工法ではなく、工場で製作したハーフプレキャストスラブを架設し、その上にコンクリートを打設一体化する工法を採用しています。

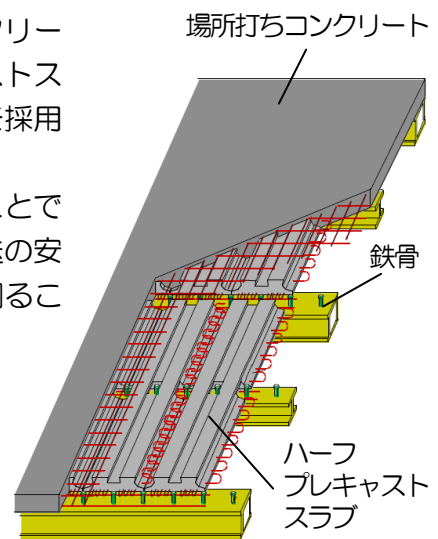
型枠・支保工兼用のハーフプレキャストスラブを架設することで現場における型枠・支保工の組立が省力化できるため鉄道輸送の安全性が高まります。また、工期短縮や工事作業騒音の低減を図ることも出来ます。



架設状況写真



ハーフプレキャストスラブ



3階乗降ホーム階スラブ  
施工イメージ

星川第2架道橋の工事進捗状況について

星川第2架道橋の桁を架設しています。

平成24年1月下旬より星川第2架道橋の桁の架設を行っており、現在は星川2号踏切部を除き、横浜方に約47m、海老名方に約47mの架設が完了しました。(写真-②、③参照)

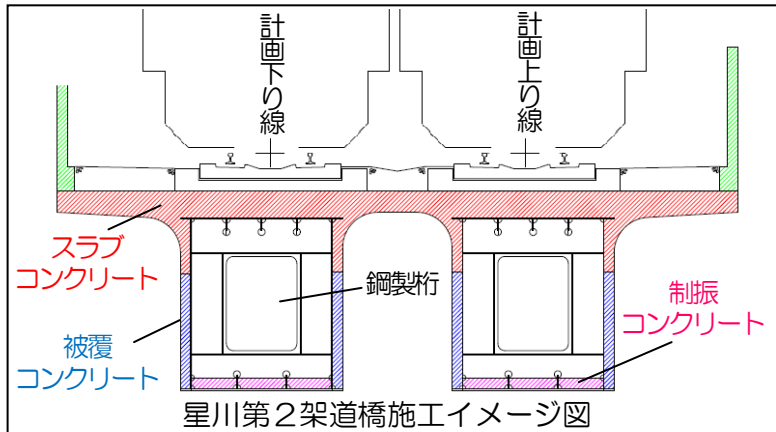


写真-② 星川第2架道橋架設状況(現況)  
(海老名方から横浜方を望む)



写真-③ 星川第2架道橋架設状況(夜間架設)  
(南側から北側を望む)

今後は引き続き、星川2号踏切の上空の桁架設を行い、桁の架設が完了した後はボルト本締め、列車が走行する部分のスラブ、制振コンクリート(桁と橋脚の接続部分に打設することで振動の低減を図るもの)、被覆コンクリート(鉄の桁を覆うことで騒音の低減を図るもの)の施工を進めて行く予定です。



～お知らせ～

星天ニュースは横浜市ホームページでダウンロードすることができます。

横浜市 星天ニュース

連続立体交差事業に関する「現在の工事状況」や「お知らせ」は相模鉄道株のホームページでご覧いただけます。

相鉄 連続立体交差工事

～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ……横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当  
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ……相模鉄道株式会社 星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所  
Tel 045 (335) 6733